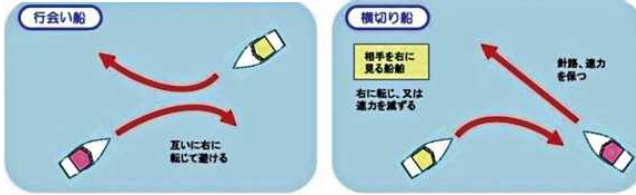


右手に見えますのは..

今年2月に九十九里浜の沖合で遊漁船と貨物船の衝突事故が起きました。遊漁船の乗船者6名に骨折や打撲など重症者が出ましたが、命に別条が無く何よりでした。事故が起きた場所は房総半島東側沖の航路上で、千葉港から北海道に向け航行中の貨物船に、九十九里町の漁港に向け帰港中だった遊漁船が交錯中に衝突したと見られています。事故が起きた時刻は正午近くで千葉県地方は晴れでした。貨物船は全長75メートル、遊漁船は18メートルで、遊漁船の船首が貨物船の右舷につっ込んだと見られます。事故原因は現在調査中とのことですが、当時の視界は良好だったと思われ、双方から相手の船が確認できる状態であったと思われ、それなのに衝突するということは、見張りが不十分であった、もしくは「相手が避けるだろう」という思い込みがあったのかも知れません。船の事故の原因として最も多いのは見張り不十分ですが、それにも増して危険なのが思いこみ操船です。「相手が避けるだろう」「相手が減速するだろう」というのは自分本位の考え方で、信号機等の明確な表示がない海上では、適切なタイミングで相手に伝わるような行動をすることが重要です。通常、右手から相手船が近づき交差するおそれがある場合は、自船は大きく進路を右に転じる、減速してやり過ごすなど避航しなければなりません。今回の案件では貨物船に回避義務があったかも知れませんが、75メートルの巨体ではすぐに舵を切ることも減速することもできません。相手の動きを伺いながら、最悪の事態を想定した行動が必要と思われ、思い込みではなく思いやりが必要なんです。平成12年から16年までの5年間に房総半島沿岸における漁船の衝突海難は46件ですが、今回の事故同様に外房沖航路上における事案が18件とかなり多く、いわゆる事故多発地帯となっています。原因のほとんどは見張り不十分で70%ほどですが、残りの30%は衝突を避けるための動作不履行や判断不適切など思い込みや早合点などが上げられています。シーズン中は秋谷沖でも数多くの船が様々な操船をされます。「...だろう」ではなく「...かも知れない」操船で事故を未然に防ぎたいですね。



※釣果情報は裏面です

安全航行しましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月の保管施設

出艇数 令和3年3月16日～令和3年4月15日	51 艇
夜間係留数 令和3年3月16日～令和3年4月15日	1 艇
保管場所空き状況 令和3年4月25日現在	現在満艇 空待ち3艇

今月の事故	接触等	0	件
	主エンジン停止	0	件
	ガス欠	0	件

秋スポ・トピックス

ここ数年ウニの異常発生によって?不漁が目立ったワカメですが、今年は順調に収穫できたようです。採れたては香りも味も抜群で正に海の幸といったところです。ヒジキももうすぐ収穫時期で今から楽しみです。ところでヒジキ、食べるのは簡単ですが、食べられるまでには漁師さんのたいへんなご苦労があります。何時間も蒸煮にするため見守り続けなければなりません。ワカメもヒジキも手間をかけて初めて美味しく食べられるのです。



海の幸をありがとう

魚の名前あれこれ

ヒメジ、ホウライヒメジ、オジサンなど種類は色々ありますが、画像のアカヒメジ、どう見ても赤くない...。実は死ぬと赤くなるんです。漢字で書くと緋女魚とか姫魚とか。女性的な魚なのでしょう。緋は鮮やかな赤色を意味します。ヒメジの仲間は泳ぐというより海底を這い回る印象が強く、ヒゲを使って獲物を探すが、アカヒメジは普段群れて泳いでいます。どうも夜間に砂地を這ってエサを探すようです。



ぜんぜん赤くない

指定管理者からのお知らせ

クレーン点検のお知らせ

こんにちは、秋谷船舶保管施設等指定管理者の(株)昭和です。クレーン年点検のお知らせです。年点検は作業に2日を要し、今年は5月10日(月)と11日(火)を予定しています。火曜日は施設休業日、月曜日は営業日ですが出船はできません。月曜日によくご利用される方は要注意です。メンテナンス等でご来場されることは問題ありません。オイル交換やインペラ交換など、たまには1日かけてじっくり愛艇と向き合うのもいいかも知れません。作業に人手が必要な場合はお気軽に声をかけて下さい。できる範囲でお手伝いいたします。

お問い合わせは ☎ **0120-560982** (コールアキヤに)

今月の釣果情報

本来ならマダイやヒラメ、メバルなどの釣果があつていい時期ですが、中深層の魚がサッパリで、200メートル超えの深場の魚ばかりです。ご利用者曰く「中層には魚がない」とのことで、一体、海の中で何が起きているのでしょうか。今後はキスやヒラメ、アオモノなど比較的浅場の魚が釣り対象になってくるので気になるところです。



深海の使い？ギンザメ



こちらも深海ギンメダイ



氷のお風呂にアカムツ



シロムツ&ギス



ゴジラミたい？ホウボウ

小田和寛

5月休日の潮回り

2日(日) 6:32 満潮(141) 13:55 干潮(21) 中潮
 3日(月) 7:01 満潮(133) 14:49 干潮(32) 小潮
 4日(火) 7:37 満潮(122) 16:04 干潮(42) 小潮
 5日(水) 9:10 満潮(110) 17:40 干潮(48) 小潮
 9日(日) 9:25 干潮(44) 15:35 満潮(138) 中潮
 16日(日) 6:07 満潮(145) 13:25 干潮(13) 中潮
 23日(日) 8:53 干潮(47) 15:06 満潮(130) 中潮
 30日(日) 12:59 干潮(7) 20:12 満潮(134) 中潮
 引き続き干満の差大に加えて、午後の南風に要注意です。

トラブル回避 ワンポイント



頭上にもご注意ください

シーズン本番になると出船数が増加し、週末ともなると10艇を超える日も少なくありません。駐艇場内も混雑してきますが、お車の乗入れについてお願いがあります。釣具やクーラーなど荷の積み下ろし時以外は駐車場のご利用をお願いしていますが、場内走行時に前後左右の確認はされても、上方の確認はいかがでしょうか。特に背の高いワゴン車は保管艇先端部に突き出ている備品等に注意が必要です。自艇の傍に停車させるときなどに、なるべく端に寄せようと思ふあまり、隣艇からのびているアンカーローラーなどにぶつかってしまうとも限りません。お互い嫌な思いをするばかりか高額な修理代もかかります。

メンテナンスしましょう

帰港後の洗艇とエンジン洗浄、作業はたいへんですが放置すると塩噛みトラブルを引き起こすので、必ず実行したいですね。船台のキャスターも洗うと洗わないでは寿命に差が出ます。ところで、チルトモーターに関してはいかがでしょうか。船外機をチルトアップしないと現れない部品なので忘れがちですが、ぜひ実行したいところです。ステアリングのエンジン側可動部もよく水洗いして塩をしっかりと落としましょう。摺動部にはグリスを塗布して下さい。ちょっとしたケアで次の乗船時が快適になりますし、余計な出費が予防できます。



見落としがちな部分です



BANへのご加入はお済みでしょうか？

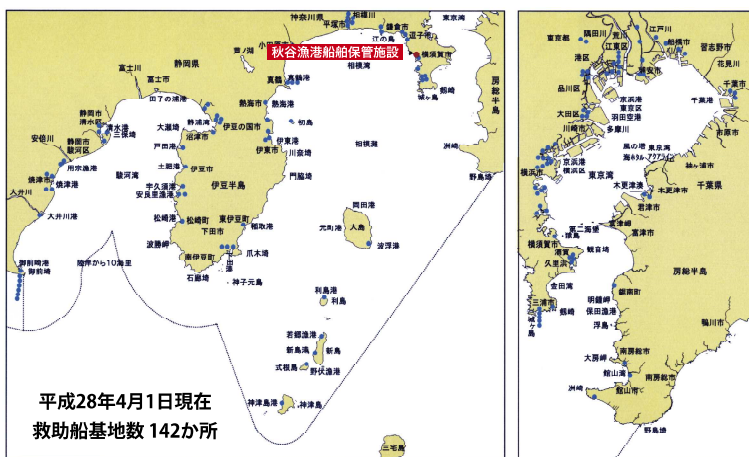
日頃は秋谷漁港船舶保管施設等をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて本施設では、募集要項記載ならびに許可の主旨の両面から、ご利用者様が出艇時になんらかのトラブルに遭遇した場合でも救助する術がございません。

つきましては、ご利用者の皆様に対しまして、BAN (Boat Assistant Network) へご加入するようお願い申し上げます。既にご加入されていらっしゃる皆様もおられることと思っておりますが、万一のトラブルに対して「24時間365日」の対応と「最寄の港への無料曳航サービス」が受けられるもので、皆様の安全なご利用をサポートするものでもあります。

昨今、各地マリーナでも加入を義務付ける向きの動きもありますので、必ずご加入いただきますようお願い申し上げます。

BAN 関東エリア 救助船基地図



BAN 加入者特典

- ① 所属マリーナが近場の場合には、所属マリーナまでの無料曳航サービスが受けられます。
- ② 所属マリーナから遠隔地の場合でも、最寄りの安全な港まで無料曳航サービスが受けられます。
- ③ 所属マリーナが休日の場合や、夜間の場合でも上記サービスが受けられます。

フリーダイヤル コールアキヤに

詳しくは、秋谷船舶保管施設 ☎ 0120-560982 までお問い合わせください。